

# 次代を拓く



2024年12月期決算は売上高、営業利益ともに過去最高を更新した。25年1月に27年12月期を最終年度とする3カ年の第6次中期経営計画がスタートした。初年度の25年

建設コンサルタント

いであ

## 田畑 彰久 社長

### 民需獲得や海洋調査注力

12月期は計画実現に向け、ビジネスモデルの変革やDX推進に一段と注力する。

と築いた信頼関係を生かし、水リスクの評価や土壌汚染対策など業務の拡大につなげて

持続的な成長には、民需を取り込めるビジネスモデルの形成が重要となる。

民間各社業務情報開示タスクフォース）

の経営課題解決の一環で、CFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）

海洋調査関連の需要も増え

づく情報開示の支援業務に取り組んでいる。この取り組みを通じて、上場企業の経営層

律型無人潜水機）の設計や製作、運用を一括して自社で行っている。浮体式洋上風力関

連の調査業務など今後さらに活用の機会が増えるだろう。

DXを推進する上で、eラ

ーニングによる人材育成に力を入れる。DXリテラシーを身に付け、さらにAIやIoTなどのスキルを使い業務遂行できるレベルの「ベーシック」人材を300人、DXに関する知識を踏まえて、ベーシック人材とともに業務変革や事業創出を推進できるレベルの「アドバンス」人材を100人ほど中期経営計画の期間内に育成する。